

# 大学生の環境活動・SDGs活動

## 令和2年度 大学生の環境活動実態調査

全国の大学生が新型コロナウイルスの影響で環境活動、SDGs活動を十分に実施することが難しくなった状況下で、今回、ecocon実行委員会の協力のもと、全国の大学生の環境サークルを対象に、令和2年度の環境活動に関するアンケート調査を実施しました。アンケートの結果をご紹介します。

アンケートの趣旨、概要(集計：全国大学生環境活動コンテスト実行委員会(ecocon))

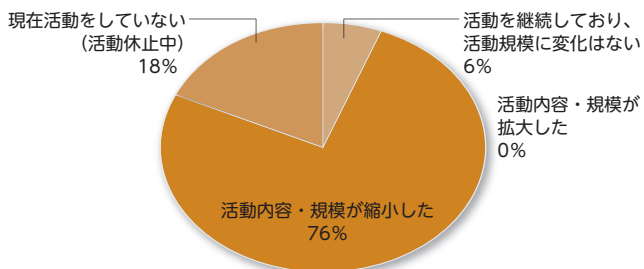
**日時**：令和3年1月22日(金)～2月1日(月)

**目的**：環境活動、SDGs活動に関わる大学生の活動状況を把握するために、全国各地の学生環境活動団体を対象に実態調査を行った。

**参加対象**：全国大学生環境活動コンテスト連携の学生環境活動団体

**回答数**：17団体

### Q1 2021年1月現在、新型コロナウイルス感染拡大前と比べて活動に変化がありましたか。

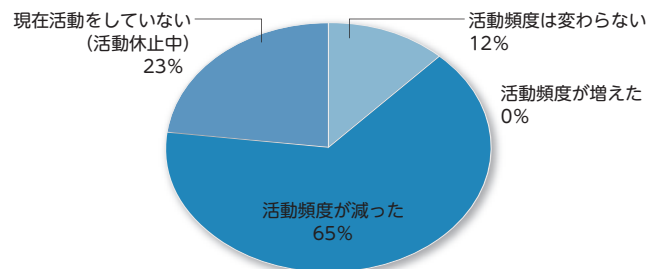


7割以上が「活動内容・規模が縮小した」と回答し、およそ2割が「現在活動していない(活動休止中)」との回答であった。

#### 【主な回答理由】

- ・イベントなどがコロナの影響で出来なくなり、メンバーを確保することができなくなった
- ・オンライン授業となり、校内での活動の際に人数が集まらなくなった。課外活動についても、自粛要請で控えているため活動ができない
- ・食事を通したメンバー間の交流や県内団体との合同イベントなど、対面できる活動が制限された

### Q2 2021年1月現在は、新型コロナウイルス感染拡大前と比べて活動頻度に変化がありましたか。

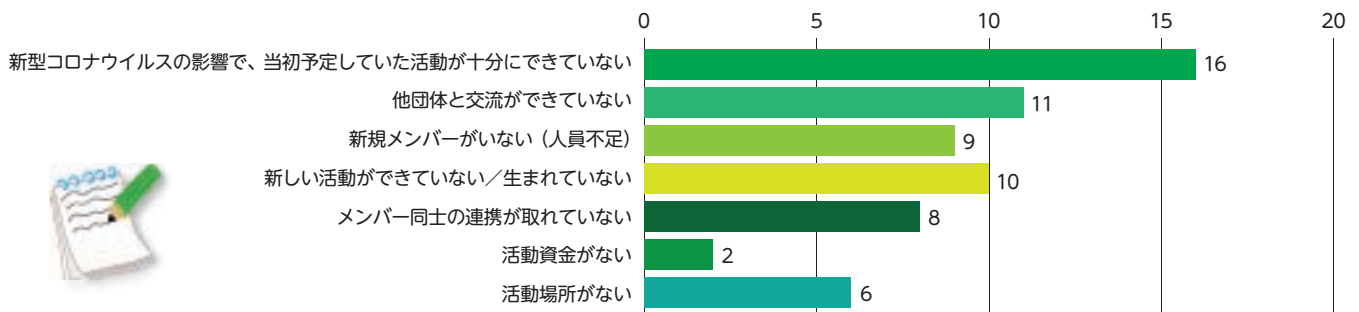


6割以上が「活動頻度が減った」と回答し、およそ2割が「現在活動していない(活動休止中)」との回答であった。

#### 【主な回答理由】

- ・コロナ禍により課外活動が禁止になったり、学生祭が中止になったため
- ・学校で使える教室に制限が出たために定例会などが行えなくなった
- ・畑、ビオトープの管理がなくなった
- ・新型コロナウイルスの流行により、イベントが減少したことや、先輩からの引き継ぎがうまくいかなかった

### Q3 団体内で抱えている課題をお聞かせください。(複数回答可)



### 考察

大学生の環境団体の活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の内容や頻度等に影響を受けた。団体の活動人数は、新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ、回答団体のおよそ半分の団体(47%)が減少していた(変わらない団体24%、増加した団体29%)。

校外活動や文化祭などのイベントの中止や、新規メンバー確保が困難になるなど、団体の活動が縮小されたという回答があった一方で、オンラインを上手に活用し、ミーティング活動やワークショップ形式の活動共有会などを実施している団体も見られた。オンラインは場所や時間に左右されずに容易に参加することが可能なため、活動内容の拡充、活動頻度の増加にもつながったとみられる。

団体の課題では、「他団体との交流」や、「新しい活動が生まれない」との回答が多く、日ごろから他団体とのつながりを持ち、活動のモチベーションを維持・向上させ、活動のヒントを得る機会を設けることも重要だと思われる。全国大学生環境活動コンテスト事務局にはその中間的役割を担い、大学生の環境活動が途絶えることなく、より活発になるための支援が求められる。